

令和6年度 学校経営方針

八戸市立長者中学校
校長 蔦川 誠

1 学校教育目標等

「求めて学ぶ、和して創る、組んで鍛える」つよい長者中学校を目指して

- (1) 校訓 (S51～)
「探究・創造・協力」
- (2) 教育目標 (R3～)
 - 一 確かな知性の育成
 - 一 豊かな心や個性の伸長
 - 一 調和的な心身の発達
- (3) 努力目標 (R3～)
 - 一 自ら求め、考え、表現できる生徒
 - 一 人の立場や意志を尊重できる生徒
 - 一 心身ともに明るくたくましい生徒

2 基本方針

学校は公教育の場であり、青森県教育委員会及び八戸市教育委員会の「学校教育指導の方針と重点」等を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた生徒（三つの力を身に付けた生徒）を育成することを目的としている。また、長者中学校伝統の「三つの力」の具現化のため（生徒に身に付けさせるため）、全教職員が望ましい信頼関係を基盤とし、学校経営への参画意識、使命感及び責任感をもって教育実践にあたり、その中で教職員は生徒一人一人の良さや頑張りを認めて、生徒の夢や希望の実現に向けて、その能力を最大限引き出すよう努める。また、学校・家庭・地域社会それぞれが果たすべき役割を明確にし、地域ぐるみでの教育活動に努めるものとする。

（生徒と「夢」、教職員と「学校づくり」、保護者と「子育て」、地域住民と「まちづくり」）

3 目指す学校像等

- (1) 目指す教職員像
（生徒に夢や希望を与え、生徒の成長を導くプロ教師） 「授業づくり・居場所づくり」
 - 真摯に学び、高い専門性、向上心、及び教育的愛情をもち、分かる授業ができる教師
 - 生徒との望ましい信頼関係を基盤とし、心豊かで信頼される教師
 - 「率先垂範」を心がけて生徒とともに活動し、学校として組織的対応ができる教師
 - 保護者、地域住民と協働し、生徒の健全育成に努める教師
- (2) 目指す生徒像
（頭と体を鍛えて心を磨く、知・徳・体の調和のとれた生徒） 「絆づくり」
 - 夢の実現を目指し、具体的な目標をもち、計画的かつ継続的に学習に励む生徒
 - 思いやりがあり、自他の命を大切にする生徒
 - 自他のよさを認め、高みを目指して切磋琢磨しながら、心身を鍛える生徒
 - 郷土を愛し誇りに思うとともに、地域社会に貢献できる生徒
- (3) 目指す学校像
（地域と協働する、誰もが来たくなる学校） 「魅力ある学校づくり」
 - 文武両面の可能性を追求し、生徒の学ぶ喜びを醸成する学校
 - 一人一人の生徒をかけがえのない存在として大切にする学校
 - 健康増進・安全確保に配慮し、生徒の健全育成に努める学校
 - 地域の諸活動に参画し、保護者や地域住民に信頼される学校

4 令和6年度 学校目標及び重点施策

課題の解決を目指し、主体的・対話的に学び、協働する生徒の育成

[重点施策]

- ①学ぶ目的を明確にもつことにより、主体的・対話的に課題解決に向かう学習の充実
- ②個の成長及び集団の向上を目指し、協働して新たなものを創り出す取組の推進

- ③集団の中での役割を自覚し遂行することにより、自己有用感を得る活動の促進
 ④地域の一員であることの自覚をもち、社会に貢献する活動の実践

5 経営の重点

生徒と教師及び生徒同士の望ましい信頼関係（絆づくり）を構築し、すべての生徒の心身の安定を図りながら、自己有用感・成就感のある教育活動を展開する（居場所づくり）ことにより、心豊かで自律心、自立心を兼ね備えた生徒を育成する。

また、生徒一人一人のよさを尊重し、個に応じた学力保証に努めること（授業づくり）により、望ましい進路選択を可能にする。

生徒が主体的・対話的に学ぶ場を設定することを通して、「魅力ある授業づくり」（授業改善）を推進していくことが、絆づくりや居場所づくりにもつながることを踏まえて、学校経営の中で特に力を注いでいく。

さらに、教職員・保護者・地域住民がそれぞれの教育力を発揮し、互いに補完しあうこと（**JS・地域密着型教育**）により、地域ぐるみで生徒の健全育成に努める教育環境を創出する。

- (1) 学ぶ喜びと確かな学力の保証を目指し、生徒の知的興味を高め、「わかった！できた！身について！」が実感できる授業づくりに努める。（**授業づくり**）
 - ・ 諸調査の分析により課題把握に努め、実効性のある授業づくりのための教材研究
 - ・ 主体的・対話的に学ぶ方法を確立するなど、授業力向上を目指した校内研修の計画的実施
 - ・ 学習意欲の向上を促す教員一人一人の課題意識及び課題解決への実践
 - ・ 学習指導の工夫を通じた、魅力ある授業づくりの推進
 - ・ 教育活動の目的、授業のねらい、及び各教科等の特質に応じたICTの適切な活用
 - ・ 主体的な学びを推進する授業規律の定着と家庭学習の習慣化
- (2) 自他のよさや可能性を認め、共に高め合う生徒の育成を目指し、生き方指導を重視した心の教育を充実させる。（**絆づくり・居場所づくり**）
 - ・ 徹底した生徒観察による生徒理解を基盤とした共感的な学級経営、教科経営
 - ・ 道徳的価値に裏付けられた教師の語りや姿勢、態度による生き方指導
 - ・ 自己有用感を実感できる体験活動を通して、社会的自立を促すキャリア教育
 - ・ 生徒一人一人のよさ・持ち味を生かす場の設定及び適切な指導と評価
- (3) 安全・安心で楽しい学校を目指し、危機管理の基本を踏まえた安全管理と事故の未然防止に努める。（**学校安全**）
 - ・ 全職員が生徒の生命を守る当事者意識をもち、役割と責任が明確な安全管理
 - ・ 危険を予測し、自他の生命を守ろうとする生徒の危機意識向上
 - ・ 中学生に与えられた学校内外での防災に関する役割の理解と実践
 - ・ いじめのない安心して学べる、自分らしさを発揮できる教育環境の実現
- (4) 「地域学校連携協議会」等を活用し、学校・家庭・地域社会、小・中学校が協働する教育活動を推進する。（**JS・地域密着型教育**）
 - ・ 「地域子どもたちを地域で育てる」認識の下、教職員・保護者・地域住民の役割と責任を明確化
 - ・ 義務教育9年間を見通し、指導の系統性を図る小・中学校ジョイントスクール事業の強化
 - ・ 教育活動の質の向上及び活性化のため、相互交流推進への教職員の意識向上（学校・家庭・地域社会が「願い」「情報」「責任」「学び」を共有する）

◆ 令和6年度の合言葉 ◆

「文武両輪の花を咲かせよう」（勉強も行事も部活動も）

☆ 今年度、生徒にのぞみたい姿

☞ 「しなやかに たくましく」 ～柔軟性・強靱性～
 生徒に期待したいこと

☞ 「プラスアルファ」 ～1つ上を目指そう～

